

2007年6月1日

報道関係各位

東燃ゼネラル石油株式会社
お問合せ先：
エクソンモービル有限会社
広報渉外部
TEL: 03-6713-4400

「第57回自動車技術会賞」論文賞受賞について

当社が社員を派遣している社団法人石油学会「ディーゼル車の燃料供給システム調査専門委員会」による論文「最新小型ディーゼル車の低温運転性に及ぼす燃料供給システムの影響」に対し、社団法人自動車技術会より「第57回自動車技術会賞」論文賞を受賞しましたのでお知らせいたします。

今回受賞の対象となった論文は、ディーゼル車の低温運転性に及ぼす燃料からのワックス析出と車両設計の影響を明らかにしています。近年、ディーゼル車の排出ガス規制が厳しくなっている状況に対応し、燃料系統の設計変更が行われてきました。この設計変更により、車両の運転性が軽油から析出するワックスの影響を受けやすくなり、寒い日にエンジンがかからない、走行中に速度が出なくなるといった不具合の増加が懸念されています。同委員会は、これらの要因を明らかにし、自動車業界に具体的な対策を提案しました。こうした調査内容の信頼性や対策の有効性などが自動車技術会から高く評価され、論文賞受賞となりました。

石油学会は、石油・天然ガスの開発、石油・石油化学工業などに関して産学両面にわたり幅広く活動を行っている石油に関する国内唯一の学会です。株式会社石油産業技術研究所の委託により石油学会の燃料油分科会に設置された「ディーゼル車の燃料供給システム調査専門委員会」では、当社を含め8団体(下記参照)が参加して調査が進められています。

記

受賞者： 瀬戸 浩志（当社企画管理室（対象論文発表当時は、エクソンモービル有限会社 鶴見 QA ラボラトリーに所属））
大森 敬朗（当社中央研究所）他3名

論文名： 「最新小型ディーゼル車の低温運転性に及ぼす燃料供給システムの影響」
（掲載誌：「自動車技術会論文集 Vol. 37, No. 6」）

参加機関： エクソンモービル有限会社、東燃ゼネラル石油株式会社、新日本石油株式会社、
出光興産株式会社、昭和シェル石油株式会社、コスモ石油株式会社、
株式会社 JOMO テクニカルリサーチセンター、財団法人石油産業活性化センター

以上